



### ハロウィン

毎年10月31日、各国でのイベントと言えり、「お菓子をくば、日本でもすっかり定着した感のおなじみのハロウィン祭り。ビスの老人一人一人かちびつ子たちには「お菓子がもらえるうれしい行事」、若者たちには「1年に一度大騒ぎできるイベント」。

そういえば、去年渋谷の交差点は仮装した老若男女でごった返し、機動隊まで出動したといわれた。

妻の通っているデイサービスでは、当日ちびつ子たちがゴミ袋で作ったマントをおつてやって来て、英語で



ハロウィンのお菓子



ハロウィンのかぼちゃ

が家に帰って来ると信じられていた。日本のお盆と大晦日が一緒になったようなものか。さらに念が入っているのは、先祖の霊がこの世に戻ってくる時、悪霊や魔女も連れてくるといわれている。やがてキリスト教がヨーロッパに広まると、10月31日のケルトの祭りの文化を否定せず

にキリスト教とうまく融合させ、古くから続くケルト独特の伝統と文化が残されてきた。キリスト教では11月1日は、諸聖人の祝日「オールハロウズ」という特別な聖なる日とされている。ハロウィンになつても人々はケルトの文化を受け継いで

いこうと、先祖の霊に仮装したり、供物を捧げたり、弔いと感謝を表してきた。

どこの国でも同じで祭りは大好き。何かにつけ、人々が集まり、飲んだり、食べたり、仮装してみたり(コスプレ)している。

誰も仮装して自分にはない自分になってみたいものだ。仮装してあの世とこの世を行き来できるミステリアスな異界の者になつたり、供物はお菓子となり、ハロウィンは大人も子どもも楽しめるものに生まれ変わってきた。

「あなた、今年は魔女がゾンビに仮装してみようと思うの!」  
「それなら、今のままでいいんじゃない?」



わが家のハロウィンパーティーの「手まり寿司」